

日本学術会議第二部会（第24期・第8回）議事要旨

1. 日 時：令和2年8月24日（月）13:30～16:40

2. 会議形式：ビデオ会議

3. 出席者：（敬称略）58名

秋葉、東、天谷、伊佐、石川、石塚、市川、巖佐、遠藤、
大杉、岡部、小田切、越智、甲斐、片田、神尾、神谷、神奈木、菊池、木原、
経塚、熊谷、小松、佐治、塩見、澁澤、杉本、高井、高木、多久和、武内、
武田、丹下、丹沢、戸田、名越、南條、仁科、西村（正）、西村（理）、平井、
深田、藤井、古谷、松田、松本、眞鍋、三村、宮地、向井、村川、望月、安村、
山極、山本、山脇、小川、小林

（事務局：高橋、酒井、原澤、勝間田、作本）

4. 議 事

1) 各分野別委員会からの報告【資料1】

基礎生物学委員会（説明者：三村副委員長）、統合生物学委員会（巖佐委員長）、農学委員会（大杉委員長）、食料科学委員会（澁澤委員長）、基礎医学委員会（甲斐委員長）、臨床医学委員会（神尾委員長）、健康・生活科学委員会（片田委員長）、歯学委員会（丹沢委員長）、薬学委員会（望月委員長）から、提言等の発出や公開シンポジウムの開催、マスタープラン2020の策定等の第24期における活動の総括および第25期への引き継ぎ事項について説明があった。第24期では、生物多様性条約名古屋議定書やゲノム編集技術に関わる課題に関して、複数の委員会が合同で提言を発出するなどの連携した活動が行われた。第25期への引き継ぎでは、withコロナ時代での委員会・分科会活動の活性化や基礎研究力の強化など分野横断的な議論の促進があげられた。オンライン会議の定着など、より効率的な委員会・分科会運営を進めるべきとの意見があった。

2) 第二部における主な課題への取り組みなどについて【資料2】

① 専攻医募集シーリングによる研究力低下の問題への対応について

天谷会員より、シーリング制度の問題点を指摘し改善を求める緊急提言を発出し、山際会長にCSTI分科会にて本件について問題提起していただいた結果、研究エフォートを考慮した臨床研究医コースの導入につながったことが報告された。

② 研究者の働き方改革について

越智会員より、働き方改革によって研究者の自由意思による研究時間も労働時間に含まれるようになり、自由な研究時間確保に支障が生じるようになったことから、その是正を求める幹事会声明を発出したことが報告された。山極会長から、国立大学の経営戦略の議論の中で、博士課程学生を研究者と見なし、その研究活動に対して給与を支払うこと（雇用）が検討されているとの情報提供があった、研究者の働き方改革と自由な研究時間確保を、第25期の重要課題と位置づけるべきとの要望があった。

③ 新型コロナウイルス感染症への対応について

秋葉会員より、本年2月に分科会が設置され、感染症対策に責任を持つ常置組織の設置についての提言を発出し、感染症対策と社会経済活動の両立を可能とする社会基盤としてのICT基盤強化とデジタル変革を求める提言発出の準備を進めていることが報告された。またGサイエンス学術会議などの国際的な学術連合体との連携した活動も進めていることの報告があり、国際担当の武内副会長から学術会議の国際的プレゼンスの向上に貢献している旨の発言があった。

④ 学協会連合等との連携について

i 日本医学会連合（説明者：石川部長）、ii 生物科学学会連合（小林武彦連携会員）、iii 日本農学会（大杉会員）、iv 日本看護系学会協議会（小松会員）、v 生活科学系コンソーシアム（小川宣子連携会員）より、学協会連合体の活動と学術会議と連携について報告があった。石川部長より、第25期では連携がよりいっそう進むように取り組んでほしい旨の要望があった。

⑤ 科学者委員会（ゲノム編集技術に関する分科会、学術体制分科会、研究計画・

研究資金検討分科会、研究評価分科会）の今期活動について

武田幹事より、学術体制分科会（提言「第6期科学技術基本計画に向けての提言」を発出）と研究計画・研究資金検討分科会（マスタープラン2020の策定）、ゲノム編集技術に関する分科会（提言「ゲノム編集技術のヒト胚等への臨床応用に対する法規制のあり方について」を発出、学術フォーラムの開催、WHO委員会への委員派遣）、研究評価分科会（研究業績評価のあり方に関する学術フォーラムの開催）の活動内容について紹介があった。

⑥ 第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会報告

平井副部長より、シンポジウム「生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティに関する課題と今後の展望」がweb開催され、293名が視聴したことが報告された。

⑦ 第5期科学技術基本計画レビューに係る内閣府と三菱総研の検討会について

丹下幹事より、学術会議に参画が求められたエビデンスに基づく政策立案に即した第5期科学技術基本計画の評価と次期基本計画策定に関わる検討会での審議状況について報告があった。

⑧ 第24期第二部活動の総括と第25期第二部への引き継ぎ

石川部長より、委員会・分科会活動への予算の制約が第25期における懸案事項であり、その解決にぜひ取り組んでほしい旨の要望があった。